

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 5 月 20 日 (2021.5.20)

【公開番号】特開 2020-182457 (P2020-182457A)

【公開日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【年通号数】公開・登録公報 2020-046

【出願番号】特願 2020-77741 (P2020-77741)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/10 Z N A Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 4 月 12 日 (2021.4.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数領域の核酸増幅が同一反応系で進行する鋳型依存的核酸増幅反応において、標的領域の核酸増幅を特異的に抑制する方法であって、標的領域内の任意の位置にハイブリダイズする一本鎖核酸を反応系に添加する工程を含み、該一本鎖核酸は RNA または RNA と他の核酸とのキメラであり、鋳型依存的核酸増幅反応が LAMP 法、ICAN 法および SDA 法からなる群より選択されるいずれかであることを特徴とする核酸増幅抑制方法。

【請求項 2】

複数領域の核酸増幅が同一反応系で進行する鋳型依存的核酸増幅反応において、標的領域の核酸増幅を特異的に抑制する方法であって、標的領域における顕著に短い任意の領域にハイブリダイズする一本鎖核酸を反応系に添加する工程を含み、該一本鎖核酸は RNA または RNA と他の核酸とのキメラであり、かつ、10～200 塩基からなること（ただし、10～70 塩基からなる場合を除く）を特徴とする核酸増幅抑制方法。

【請求項 3】

一本鎖核酸が一本鎖 RNA である請求項 2 に記載の核酸増幅抑制方法。

【請求項 4】

鋳型依存的核酸増幅反応が、鋳型核酸にプライマーをアニーリングさせプライマーの 3' 末端から核酸を伸長させることにより核酸鎖を増幅する反応であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の核酸増幅抑制方法。

【請求項 5】

鋳型依存的核酸増幅反応が、PCR 法、RT-PCR 法、NASBA 法、LCR 法、TRC 法および TMA 法からなる群より選択されるいずれかであることを特徴とする請求項 4 に記載の核酸増幅抑制方法。

【請求項 6】

鋳型依存的核酸増幅反応が PCR 法または RT-PCR 法であることを特徴とする請求項 5 に記載の核酸増幅抑制方法。

【請求項 7】

鋳型依存的核酸増幅反応に用いる DNA ポリメラーゼが 型 DNA ポリメラーゼであることを特徴とする請求項 4～6 のいずれかに記載の核酸増幅抑制方法。

【請求項 8】

標的領域の核酸増幅を特異的に抑制するキットであって、標的領域における顕著に短い任意の領域にハイブリダイズする一本鎖核酸を含み、該一本鎖核酸はRNAまたはRNAと他の核酸とのキメラであり、かつ、10～200塩基からなること(ただし、10～70塩基からなる場合を除く)を特徴とするキット。